

小学校 第6学年 理科「てこ」

育成を目指す資質・能力について

- ・ てこの規則性について、器具を正しく使いながら調べ、得られた結果を適切に記録することができる。【知識・技能】
- ・ てこの規則性について、実験結果を基に考察し、表現することができる。【思考・判断・表現】

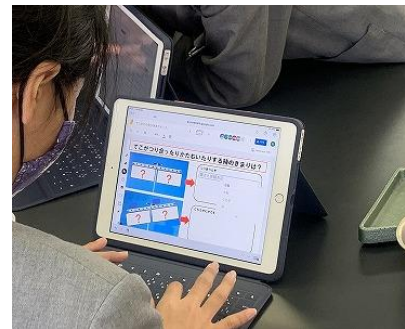
事例の概要

	児童・生徒	教師
①	前時の学習を振り返る。	
②	本時のめあてを確認する。	
③	てこを使って物を持ち上げるときのきまりを調べよう。	
④	実験に取り組む。 ・ 実験結果をスプレッドシートに入力することで他の班と実験結果を共有する。	・ 実験前に、実験方法を確認し、実験の見通しをもつことができるようにする。 ・ 実験結果を入力するためのシートを用意しておく。
⑤	実験結果を基に考察したことを、Jamboardに入力し共有する。	・ 考察したことをJamboardで見合うよう声を掛け、各々の考えを共有するようにする。
⑥	考察で見つけたきまりがどの実験結果にもあてはまるかどうか調べる。	・ スプレッドシートの表計算機能を活用し、全ての実験結果を一括して計算し、きまりがあてはまっていることを確かめる。
⑦	結論を書き、本時の振り返りをする。	

【活用したソフトや機能】

- ・ スプレッドシート
- ・ Jamboard

【事例におけるICT活用の場面】



- 各班の実験結果を全体で共有することで、再現性・客観性の観点から実験結果の妥当性を検討することにつながりました。
- それぞれの考察をJamboardを通して共有する中で、自身の考えと比較し、考えを深める様子が見られました。

【事例におけるICT活用のポイント】

- ①スプレッドシートは各班が複数回実施した多量の実験結果を短時間で集約し、交流するために効果的です。また、その後の考察のための時間確保にもつながります。他の班と異なる実験結果が見られた際には、その結果を取り上げ、妥当性を確認することで、複数回実験したり、実験結果を交流することの価値に気付くことができるようにすることが大切です。
- ②Jamboardは、入力した全員の考察を見合うことができ、考えを深めるために効果的です。ただ、眺めるのではなく、自身の考えと比較し、共通点や違いを見つけながら見合うようにすることが大切です。